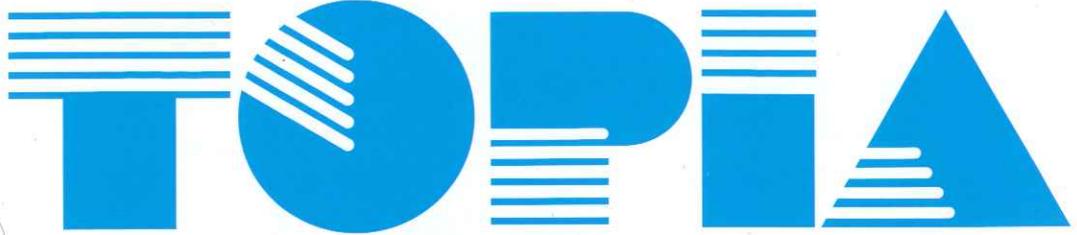


第60号



2014.03



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL:088-656-3303

徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議 & 多文化共生フォーラム

徳島県内に在住する外国人の数は、平成元年には828人でしたが、平成25年6月末現在では4,953人となっております。在住の理由は、就労、留学、国際結婚などです。

当協会では、平成13年度より県内在住外国人の方々の生活に関わる事務を担当する国・県・市町村の機関や相談業務に携わる団体で構成する「徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議」を発足させており、今年度の会議は1月31日（金）に開催しました。

第1部では、県教育委員会学校政策課から帰国・外国人児童生徒にかかる問題や取組状況についての説明、続いて国際交流懇話会 HIROBA International 代表の山田代表から近年の活動、及び在住外国人の方々からの相談等についての現状報告がありました。

第2部の多文化共生フォーラムでは、元アナウンサーで現在は香川国際ボランティアセンター代表理事の蓮井孝夫氏を講師としてお迎えし、「地域・ちがひ・ふれあい・支え合い（多文化共生）」と題して御講演いただきました。「平和とは?」、「幸せとは?」、「自分らしく輝く人生とは?」、「自助・共助・公助」など興味深いテーマを、豊富な体験に基づき、ユーモアや失敗談を交えながら具体的にお話いただき、聴く者の心に響きました。

ラオスで学校を建てたり子どもたちへ物資を届けたりするまでに工夫や苦勞をしたこと、まだ8千万発も土に埋まっているとされる不発弾のこと、「自分だけではなく他人のために生きる」ためには、「〇〇のある者は〇〇を出す」の「〇〇」の部分に「金・時間・知恵・体力・思いやり」などの言葉を入れ、「何もない者は汗を出す」というお話など、さまざまな角度から「多文化共生」について改めて考えることができ、充実した1時間半でした。講演後の質疑応答も広がりや深まりがあったと感じました。

今後とも関係機関の連絡を強化し、在住外国人の方々への支援が、より円滑、迅速に行われるよう努めてまいります。



a JET Tokushima Musical



第20回 AJET徳島英語ミュージカル

『ファインディング・ニモ』監督のパイクです！いよいよミュージカルが始まります。

アメリカ、オーストラリア、台湾、オランダ、ドイツや日本の様々な出身者達がメンバーとなり一致団結して頑張り、非常に楽しいミュージカルを作り上げました。是非、徳島県の皆様に、その努力の成果を披露したいと思っています。

今回のミュージカルの話は海、魚の世界の物語です。ニモという子供のクマノミが人間に連れ去られて、心配性のお父さんのマーリンが追いかけます。途中、忘れっぽいドリーと出会い、一緒にサメ、クラゲやオニカマスと冒険する、友情と親子愛の物語です。

名前の通り、英語ミュージカルなのですが、簡単な中学英語程度で演じます。「英語が分からない」という方も心配しないでください。日本語のナレーションもありますので、きっと小さな子供でもストーリーを楽しんでいただけると思います。

今年は20周年記念ですので、是非徳島県の皆様と一緒に祝いたいと思っております。このミュージカルは、地域の国際交流と教育を目的とする事業ですので入場料は無料です。是非おこし下さい！

* 開催場所 *

3月 1日	夢ホール・阿南市文化会館	18:00 ~ 20:00
3月 2日	徳島県総合教育センター	14:00 ~ 16:00
3月 8日	北島町立図書館・創世ホール	16:00 ~ 18:00
3月15日	脇町劇場・オデオン座	18:00 ~ 20:00



ミュージカルのメンバー達



ミュージカルの練習風景

あわ（OUR）教育発表会

平成 25 年 12 月 24 日（火）、徳島県立総合教育センター（板野町）にて、県教育委員会主催の「あわ（OUR）教育発表会 ～広げよう徳島の教育 育てよう未来を切り拓いていく子どもたち～」が開催されました。

この会では、毎年、県内の幼小中高、特別支援学校が一堂に会し、様々なテーマのもとでのポスターセッションを繰り広げます。

当協会は、学校と連携して行っている「帰国・外国人児童生徒を対象にした日本語サマースクール」・「中高校生夏期英語セミナー」・「学校等への国際理解外国人講師派遣」・「職場体験等の受け入れ」などについて、ポスター展示とプレゼンテーションを行いました。今後も、学校とのより一層の連携強化を図り、異文化理解・多文化共生の意識の醸成を図っていききたいと思います。



防災生涯学習推進フォーラム

当協会では、平成 26 年 1 月 11 日（土）、アスティ徳島（徳島市）で開催された「防災生涯学習推進フォーラム（徳島県主催）」に、県国際戦略課とともに参加しました。会場では、在住外国人の方が災害弱者にならないために各種防災意識啓発事業の取組み「防災スタディーツアー」・「防災出前講座」・「防災ハンドブック（やさしい日本語・英語・中国語併記）」についてポスターで紹介し、多くの参加者の方に知っていただくことができました。

このような活動を広く啓発することで、外国人の方が災害弱者にならない「災害に強い地域づくり」につなげたいと思います。

防災出前講座・防災ハンドブックについての御希望は、当協会までお気軽におたずねください。



トピア研修生として

研修生 天部 剛

研

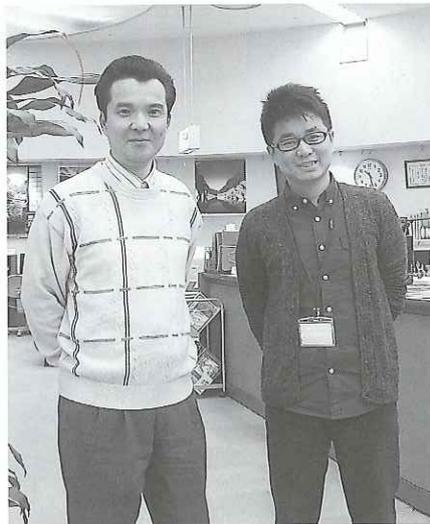
研修生としてトピアでの勤務が2013年4月から始まった。中学校の教育現場との違いにとまどうことが多かったが、職場の温かい雰囲気や職員の適切な助言で、初めての仕事も徐々に覚えていくことができた。当協会が財団法人から公益財団法人に変わったため、数千枚の封筒に「公益」のハンコを押す作業が、今となってはなつかしい。集中力を要したが文字通り、「おおやけの利益」のためにがんばろうという気持ちが湧き上がってきた。

トピアという職場を一言で表すならば、「縁の下の力持ち」だと思う。外国からの観光客への情報提供や日本語教室、生活相談などの日頃からの支援や、日本語弁論大会、夏期英語セミナー、阿波踊りの「あらそわ連」などのさまざまな行事を通して、外国の人と徳島に住んでいる人との交流や共生を推進する役目を担っている。

私の仕事の主なものは国際理解支援講師派遣事業に関することであった。特にトンガ、ポルトガル出身の講師と一緒にある小学校を訪れ、異国の話を聞いたり写真や実物を見たりする子どもたちの笑顔や目の輝きを見た時は、心が癒された。また、先生や保護者、地域の人たちに温かく見守られながら成長している彼ら彼女らに出会い、「環境が人を育てる」という言葉を思い出した。

その後日、「マカさん（講師）と友だちになりたい」と書いて送ってくれた感想文を読んだときは、涙が出るほどうれしかったし、まさしく多文化共生の第一歩だとも思った。

他にもたくさんの思い出があるが、徳島大学で国際協力論の講義を受けさせてもらったことや、中高校生夏期英語セミナーで、投影機を職場から現地へ持って行くのを忘れ、ALTに助けてもらったことなども、ありがたかった。前任者が私に伝えた言葉、「世界観が広まり、価値観が深まる」を実感した。私はさらに「教育観、人生観が変わる」を付け足して後任者へ引き継ぎ、トピアでの体験を今後の学校教育現場や地域社会で活かしていきたい。1年間本当にありがとうございました。



天部さん（左） 董さん（右）

お別れの言葉

国際交流員 童江寧（とんじゃんんにん）

「逢

うは別れの始め」という日本のことわざがあるが、いざお別れの時が来ると、心のどこかで寂しげな気持ちが強烈に生じ、まるで淡いピンクの桜が満開して間もなく風に吹かれ地上に散ってしまうような情景を惜しむような心境で、その言葉に含まれる意味合いにも納得いかなくなるのです。

過ぎ去ろうとする徳島での一年間を振り返り、楽しかったり悲しかったり新鮮だったり面白かったり、その一幕一幕が短編映画のように再びいきいきとした映像として脳裏をよぎっていきます。そのなかで皆様が無器用な私を笑顔や励ましの言葉ですっと温かく接して下さったことに一番感謝したいと思います。TOPIAにきて、一番大きな仕事は「阿波生活」の編集でした。毎月発行する8ページしかないのですが、誰かの役に立つかもしれないという思いを込めて、できるだけ綺麗でいいものに仕上げるように私なりに頑張ってきました。また、国際理解の促進を目的として、小中学校の児童・生徒の皆さんとの交流も数回行われ、皆さんの知らない中国や、日本と中国の関係について考える時間を共有できたことも、たいへん有意義なものでした。私たちは民間レベル

での交流を大事にしていかななくてはなりません。それを推進していくには国籍や民族を問わず、まず、人々が、外部世界に対する好奇心や、広い心を持つことが必要となってくるのではないかと思います。

便利な21世紀になって、地球もいっそう小さくなったような気がします。別れの言葉は、「さようなら」ではなく「再見（またね）」にしたいと思います。日本か中国かわからないのですが、またどこかで皆様との再会を楽しみにしております。



JICA 徳島デスク 国際協力推進員交替のご挨拶

「踊って楽しく世界とつながろう！」

中川 朋子 (前任)

JICA 四国 徳島県国際協力推進員として働いた3年間、みなさまのご支援を得て、さまざまな国際協力・国際交流活動に携わる事が出来ました。その中、踊って楽しく世界とつながる国際交流の場面が数多くありました。JICA 出前講座で海外からの研修員と学校訪問をした際にも、研修員の国の踊りを生徒さん達に紹介し、また阿波踊りを皆で踊る機会がたくさんありました。身体を動かしながら一緒に踊れば自然と笑顔であふれます。言葉の壁もなくなり、国境を越えた一体感が生まれます。だいぶ前の話になりますが、青年海外協力隊として派遣されたマラウイ共和国(アフリカ)でも、踊りは生活の一部でした。着任当初、電気も水道もない村にホームステイしました。まだ現地語もほとんど分からない時期でしたが、月明かりの下で円陣になり、手拍子だけで皆と踊る内に、自分もまた村の一員になったような気がしたものです。現在、我々の暮らす地球はさまざまな課題を抱えていますが、共に踊った時のように国境を越えた一体感や、連帯感、楽しく弾む気持ちを持って、より良い地球のためにグローバルな視点を持って暮らしていけたらと思います。現職中は大変お世話になりました。今後も国際協力・国際交流の場には積極的に参加していく所存ですので、そこでまた皆さんとお会いしましょう！

どうもありがとうございました。

「徳島の皆さんこんにちは！」

久保 有希 (後任)

この度、徳島県の国際協力推進員に着任しました、久保有希と申します。

生まれも育ちも徳島なので、親しみのある徳島において活動できることを大変嬉しく思っています。

さて、皆さんは日本が外国に対して行っている国際協力についてどのようなことを知っているでしょうか。私は今まで国際協力の仕事とは関連がないように

思われる、ハーブ・アロマセラピーの専門店に働いていました。実は、ハーブやアロマセラピーを通して、遥か遠い世界と繋がることがあります。

肌に潤いを与える効果から化粧品の原料として使われるシアバターは、ガーナの乾いた地で、いきいきと暮らす女性たちによって、ほとんど全ての工程が手作

業で作られています。

この特産品のシアバターをガーナの産業のひとつとして確立する手助けとして、ガーナにシアバター石けん工房を作り、現地の女性グループに対する石けん製造指導が行われました。ガーナでは素晴らしいシアバター石けんができて、女性の地位や生活の向上に繋がりました。日本では購入者の皆さんが製造者のガーナの人々や彼らの暮らしを考えることができました。

私は、国際理解が深まる楽しいイベントや講座の実施などを通して、徳島の皆さんに世界のこと、国際協力のことを、もっと身近に感じていただけるようにお手伝いさせていただきたいと思っています。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



中川さん(左) 久保さん(右)

JICAボランティア春募集説明会に
ぜひお越しください!!

TOEIC講座&無料上映会を春募集説明会と同時開催!

① TOEIC講座&JICAボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)体験談・春募集説明会

3月29日(土) 13:30~15:30 場所: TOPIA 大会議室 予約不要・参加無料

第1部 TOEIC 講座

JICA ボランティアへの応募にあたり、英語はどれくらいできればいいの? TOEIC を受けたことがないから分からない! という方のために、少しだけ TOEIC 試験を体験できる講座を開きます。

はじめての方におススメです!

第2部 JICA ボランティア体験談(徳島出身) & 春募集説明会

② 映画&JICAボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)体験談・春募集説明会

4月19日(土) 13:30~17:00 場所: TOPIA 大会議室 予約不要・参加無料

映画「スタンリーのお弁当箱」(文部科学省特別選定作品)



いつもみんなを笑わせてくれるクラスの人気者スタンリー。しかし彼は家庭の事情でお弁当を持ってこることができない。昼食の時間は一人ぼっち。水道の水を飲んでしのいでいる。そんな彼を助けようと、クラスの友達は自分のお弁当を分けてあげるが、食い意地の張った先生に見つかり、取り上げられてしまう。しかも、「もう学校に来なくていい」とまで言われてスタンリーは落ち込み、学校に来なくなる…映画大国インドの新たな才能! 笑いと涙が詰まった“おいしい”大ヒット映画!

詳しくは <http://stanley-cinema.com/>

< JICA ボランティア春募集受付期間 > 2014年4月1日~5月12日

詳細は下記問い合わせ先、または JICA ホームページ: <http://www.jica.go.jp/volunteer/> をご参照下さい。

お問い合わせ先

【JICA 徳島デスク (TOPIA 内)】

電話: 088-656-3303

メール: jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

(公財) 徳島県国際交流協会主催!

2014年度 外国人による徳島県日本語弁論大会

出場者大募集

お知り合いの外国人の方にぜひおすすめください!

1. 日時・場所 2014年7月13日(日) 13:30~16:30
あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 5F 小ホール
2. 応募資格 徳島県内在住の日本語を母語としない外国人(日本での義務教育を3年以上受けていない方。また前回までの上位入賞者を除きます)
3. テーマ この大会の開催趣旨に沿ったもので、国際理解・国際協力に関するものであれば自由です。
4. 弁論時間 一人当たりの発表時間は、6分以内とします。
5. 主催/出場申込先 公益財団法人徳島県国際交流協会(トピア/TOPIA)

*詳細は当協会(とくしま国際戦略センター)のホームページに3月中旬に掲載を致します。

Japanese Lessons 2014 平成26年度 前期TOPIA 日本語教室 受講案内

■クラスおよび講師

*クラスはそれぞれ全20回です。教科書「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)を中心に、また、随時、季節や徳島の生活に即したテーマを取り上げて勉強していきます。

教科書は購入してください。ただし、水・土曜日の「総合的・グループレッスン」受講者は、必要な場合のみ購入してください。

※一度納入した受講料は、途中で受講しなくなっても返金しません。

日	時間	講師	講義内容	開始日
火	10:30 ↓ 12:00	初級Ⅲ 元木	初級後半、理由、受身、使役、敬語表現などを学ぶ。 《みんなの日本語Ⅱ》38課から	4/8
水	10:30 ↓ 12:00	総合的グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。 *子育て中の方は、隣の会議室の保育士に子どもを預けることができる(要予約)	4/9
木	10:30 ↓ 12:00	初級Ⅰ 山田	動詞のいろいろな活用形、また、それらを使った文型を学習する。 《みんなの日本語Ⅰ》14課から	4/10
金	10:30 ↓ 12:00	初級Ⅱ 青木	動詞のいろいろな活用形を学び、豊かな表現を学習する。 《みんなの日本語Ⅱ》26課から	4/11
土	10:30 ↓ 12:00	総合的グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。	4/12
日	10:30 ↓ 12:00	入門 JTM	日本語の基本的な表現を初歩から学習する。 《みんなの日本語Ⅰ》1課から	4/6
		グループ学習 初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ フレキシブル	それぞれのレベルにあったグループ学習を行う。《みんなの日本語Ⅰ》14課～25課、 《みんなの日本語Ⅱ》26課～37課と、38課～50課、どこにも該当しない方のためのグループ。	4/6

1. 対象

徳島県在住の外国人

2. 場所及び連絡先

公益財団法人 徳島県国際交流協会 (TOPIA)
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 徳島クレメントプラザ6F
Tel. 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

3. 受講料(資料代含む) 1,500円(全20回)。ただし、申し込み時、受講回数が10回未満の場合は750円になります。(クラスのレベルが合わない等の理由でクラスを変更する時は、届け出をすれば、2度払う必要はありません。)

4. その他

- ① 教科書「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」を各自購入してください。
- ② 受講希望者はTOPIAカウンターにて申し込んでください。
- ③ 2クラス以上の受講を希望する場合は、受講するクラス数分の受講料をお支払いください。
- ④ 申し込み後クラスを変更したいときには、必ずTOPIA職員にお申し出ください。

木 (無料 クラス)	10:30 ↓ 12:00	特別入門 木村 ほか	ひらがな・カタカナが読めない、書けない人が対象。かなの読み書きを学びながら語いを増やし、上記の日本語クラスでの勉強につなげられるような学習を行う。また、生活情報の交換・案内なども随時行う。	通年
------------------	---------------------	---------------	--	----

*状況により講師が変わることもあり得ますので、ご了承ください。

*天候(台風・大雨・大雪)の状況により急に休講になることがあります。ご了承ください。

その場合、クラスがあるかないか分からない場合は電話でご確認ください。(088-656-3303)【午前10時～】

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。

コミュニティ通訳研修

徳島県には様々な文化的背景を持つ人々が共に暮らしており、地域の国際化が進んでいます。しかし、言葉や母国との制度の違いにより、毎日の生活の中で様々な支援を必要としている人も沢山います。語学ボランティア通訳として活動している方や外国人支援をしている方のみならず、これらの活動に関心のある方を対象に、医療、司法、行政、そして災害時等を含めた社会生活の様々な場面で必要な通訳について、ロールプレイをまじえての研修です。

講師：内藤 稔氏
(東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師)

日時：平成26年3月16日(日) 13:00～16:00

場所：(公財)徳島県国際交流協会 会議室

入場料：無料

申し込み・問い合わせ：当協会まで

詳細については、当協会(とくしま国際戦略センター)のホームページをご覧ください。当日参加大歓迎ですが、できれば事前に電話かFAXまたはメールでお申し込みください。

英語・中国語 多言語電話相談(窓口案内)員

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、さらにきめ細かく生活相談や観光案内をすることができるよう、英語・中国語対応の多言語相談員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話(トリオフオン)もごございます。是非、ご利用ください。

英語担当：池上 中国語担当：藤原

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320(相談電話)

全ての依頼に応えられない場合もあります。ご了承ください。

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募集中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

近年、気象の変化に伴い台風などの自然災害をはじめ、南海トラフ巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

なお、この制度の詳細な内容、登録書類、ボランティア依頼の申請書につきましては、当協会ホームページ(とくしま国際戦略センター)からダウンロードできます。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流 & 異文化理解!

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師(県内在住外国人等)を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口3,000円/年度

団体会員 一口5,000円/年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
クレメントプラザ6F

Tel：088-656-3303

Fax：088-652-0616

URL：<http://www.topia.ne.jp>